

第二中学校の教育目標と来年度の重点

学校教育目標

敬愛(徳)

自らをみつめ他を思いやる中学生

窮理(知)

自ら学び、互いに高めあう中学生

実践(体)

自らを鍛え、体を大切にする中学生

令和元年度の重点

I 人と関わり、地域と関わる場面づくり

II 授業づくりの4視点を意識する

①聞く・受けとめる・問いをもつ

②考える・話す・伝える

③分かり合う

④考えを更新する

III 自ら考え、実践できる活動の充実

平成31年度の学校自己評価の結果、上記の「令和元年度の重点」を設定しました。重点の達成をめざし、全職員が、全教育活動において取り組んでいきます。

そして、「12項目の観点」によって、アンケート（生徒・職員・保護者）を実施し、本年度の重点を検証していきます。

実施内容	学校評価の観点	
○魅力ある授業の創造 ○学力の向上 学力調査, アンケート等活用 家庭学習の質の向上 小中連携 授業改善 ○自己の「授業改善課題」を明確にし, 全校で学び合う「見合う授業」研究	1	教材を工夫したり, 学び合いの場を設定したりする等, 分かりやすい授業づくりに努めている。
	2	自分の言葉で語る(読む・書く・話す)活動の充実をめざし, 友だちとかかわりを大切にする授業づくりに努めている。
	3	家庭学習の「習慣化」から「質の向上」をめざし, 生徒一人ひとりが求める指導に取り組んでいる。(添削やコメント, アドバイスなど)
	4	授業評価アンケートや, 一人一公開授業研究を実施するなどして, 授業改善に取り組んでいる。
○校内・地域での挨拶と会釈の励行 ○規律があり, 磨き合う授業 整える(着席チャイム・届く挨拶・目、耳、心で聴く) ○学級学年活動, 生徒会活動, 部活動を通しての心ゆく学校生活づくりの充実 ○命の教育の実践 性教育の授業実践 人権教育の充実と学びの発信	5	明倫の心を基盤に, 校内外でのあいさつ, 履き物揃え, 時間厳守などの意味づけをし, 自らの成長を自覚しながら, けじめのある生活ができるように取り組んでいる。
	6	生徒が, 学級活動・生徒会活動・部活動に精一杯取り組み, それぞれの良さを発揮している。
	7	学年の発達段階に即した人権・道徳・性教育の学習を通して, 人権尊重の大切さや命の教育に取り組んでいる。
○不応生へのチーム支援 ○教育相談の充実 ○通常学級における特別支援のあり方の研究実践 ○外部機関との連携 ○保護者との連携	8	教育相談や進路相談を含め, 生徒の思いを汲み取る活動がなされ, 一人一人の生徒が大切にされている。
	9	必要な生徒に対し, 担任, 学年職員, 相談員等及び外部機関と連携して, チームによる支援が行われている。
○「地域に役立つ中学生」推進 ○地域から学び, 学びを発信, 地域との連携(信州型コミュニティー) 「キャリア教育」の充実 二中フォーラムの開催 二中祭を通じた学びの発信 歌声の発信 ○学校開放, 情報発信による開かれた学校づくり	10	地区生徒会と自治会, 公民館との連携・協力を計画的にすすめ, 生徒の地域行事への参加を推進している。
	11	キャリア教育や二中フォーラム, 二中祭, 学活総合などを通し, 地域に飛び出し, 地域に学び, その学びを地域へ発信している。
	12	グランドデザインを公表したり, 学校・学年・学級通信を発信したりして, 各種情報を家庭, 地域に提供できている。